

## ◇集中することが苦手な自分で勝手な行動をとりがちな児童

【Q】 小学校2年生の男子の保護者です。授業中、先生の話を中心して聞くことができず、自分の好きなことをしてしまいます。また、友達とのコミュニケーションが上手くとれず、けんかになることもあるようです。今後、学習や生活が皆と一緒にできるか心配です。どうしたらよいでしょうか。

【A】 小学校低学年は、何事においても興味・関心が高く、意欲旺盛で活発な時期です。ただ、話を集中して聞けず指示を聞き逃したり、友達と仲良くできなかつたりすると、授業中や休み時間に困ることが増えて、お子さんの自信が失われてしまうことが心配されます。お子さんがもっているよさを伸ばしつつ、困難さを克服しながら成長できることが望ましいと考えます。

そのために、次の点を考えてみながら克服すべき困難さに対応してみたいかがでしょうか。

### ①視覚的に工夫して、集中が持続しやすい環境作りをしましょう。

話を集中して聞くことが苦手なお子さんは、言葉での指示や説明だと伝わりづらい可能性があります。話すだけでなく、内容を文字や絵にしてメモに書き残すなど、視覚的に分かるよう工夫すると理解しやすくなります。また、視界に入る様々なものに意識が向きやすく、集中できない場合もあります。集中して取り組むには、注意が分散しにくい環境づくりが必要になります。使うものだけ出す、掲示してあるものを最低限のものにするなど、視界に入る情報を減らすと集中しやすくなるでしょう。担任に相談し、座席の位置を配慮してもらおうといった方法もあります。お子さんの特性を知り、それに応じた対応を学校と協力していきましょう。

### ②気持ちのコントロールができるよう、具体的な方法を教えましょう。

気持ちの伝え方を知らないことや、「自分がやらなければいけない」「間違えてはいけない」という考え方を強くもってしまう傾向があるならば、「頼み方」「謝り方」などを教えることも一つの方法です。また、「お願いしてもいいんだよ」「誰でも間違えることがあるよ」と、繰り返し話して、じっくりと成功体験を積み重ねてあげることも大切です。自分の気持ちをコントロールできたときには、必ず褒め認めてあげましょう。お子さんにとって困難なことについては、学校の先生も把握しています。授業中の支援など、気になることがありましたら、まず学校に相談し、一緒に考えていくことが大切です。